

9/14 五/五

コロナ「後遺症あり」半数

退院日・療養終了日以降の症状別回答数(重複回答あり)	
嗅覚障害	971(件)
全身の倦怠感	893
味覚障害	801
せき	616
息苦しさ	532
頭痛	453
集中力の低下	433
関節の痛み	350
脱毛	315
睡眠障害	305
記憶障害	183
結膜炎	101
その他、無回答	444

東京・世田谷区の調査

東京都世田谷区は、新型コロナウイルスに感染した医療などを対象に後遺症についてのアンケートを行い、速報値を公表しました。

「後遺症がある」と答えたのは48.1%で、約半数の人々が療養終了後も後遺症を感じていることが分かりました。

アンケートは4月15日時点での区保健所に提出来た感覚者の発生届を元に実施。7月16日から8月6日までに郵送とインターネットによる回答が3710件ありました。

「後遺症がある」と答えたのは1786人、「ない」人は1833人でした。30～50代では「ある」人がいすれも半数を超えました。

症状別（重複回答あり）では嗅覚障害が9

嗅覚障害・倦怠感など ■ 心の不安も

7-1件で最も多く、余
歳の懇意（けんじ）
感（かん）じ、味覺（みくわ
せう）
80-1生、やがて一
生、感應（かんのう）
するが現れる。

など心身にわたり不安を抱えていたのが浮き彫りになりました。

症状を年代別に見る
と 10～30代で最も多く
いのは嗅覚障害です
が、40～80代では倦怠
感が1位となり、年齢
によって症状の感じ方
に違いがあります。

療養中や療養後の困
ったことについて尋ね
ると、体調や健康面へ
の不安、家族への感染
の不安、療養生活での
不安やストレスのほ
か、仕事や経済的な不
安、うわさや風評被害
などがあげられます。
症状の陽性者や軽症者
も対象とした幅広い調
査だと説明。「長期に
わたる後遺症の問題に
いかなければならな
い」と話しました。

図はコロナ後遺症に
関する電話相談窓口を
4月に開設。陽性診断
後1～2カ月以上たつ
ても症状が残る人は都
立・公社病院の窓口で
症状や体調、受診につ
いての電話相談がで
きます。